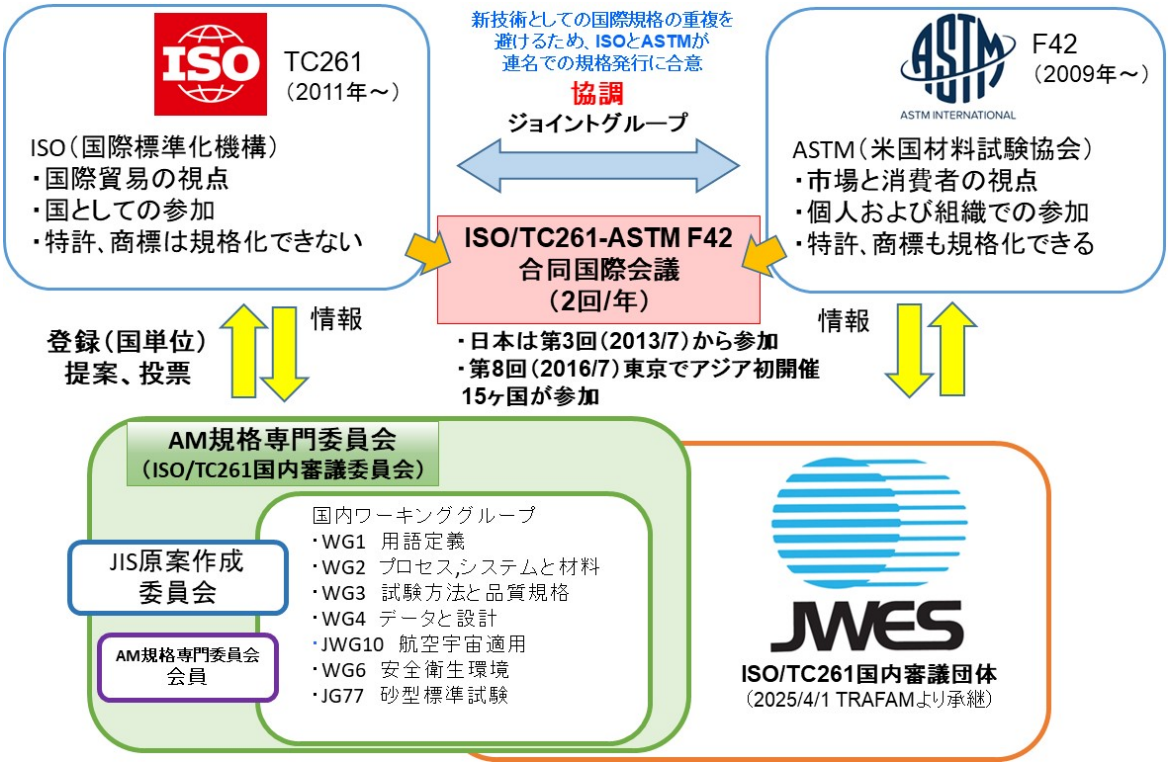
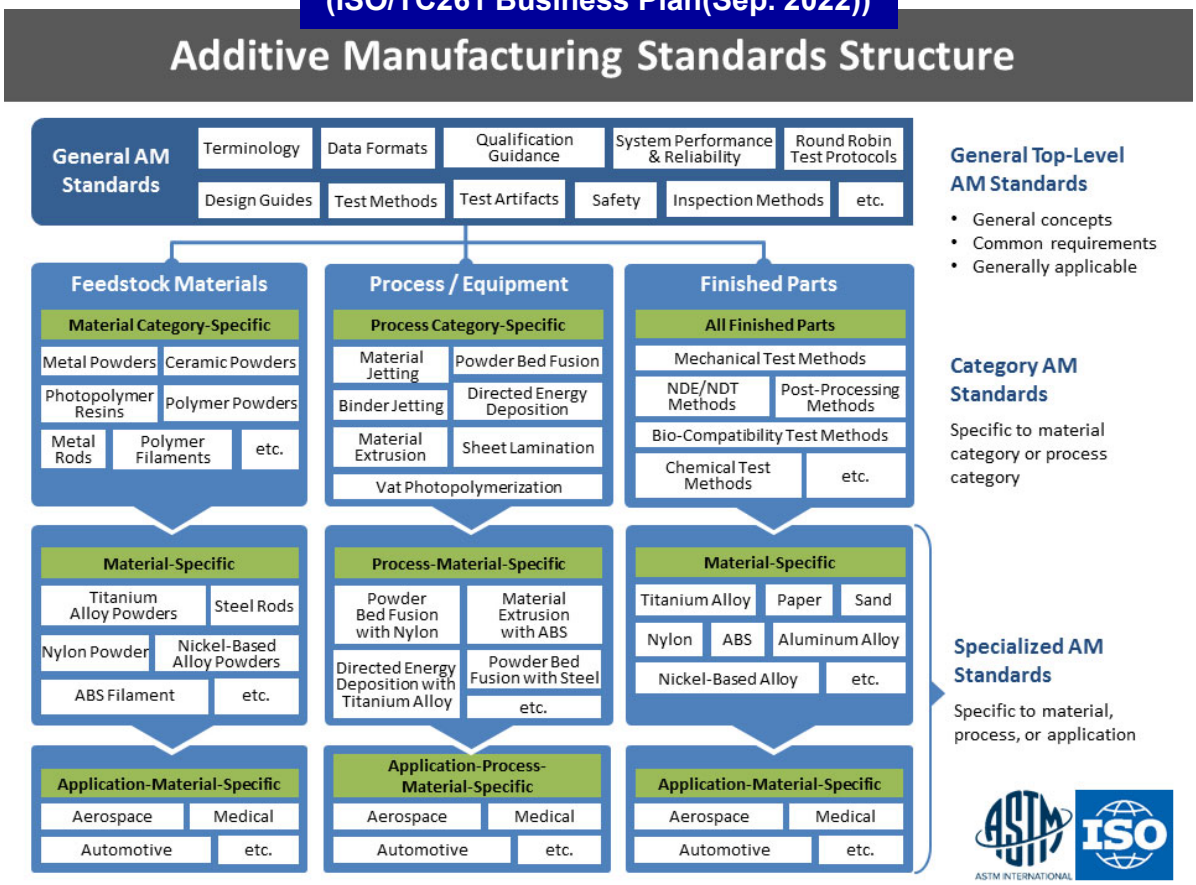
（一社）日本溶接協会
AM規格専門委員会会員募集中

AMの国際標準化組織と日本の体制



AMの国際標準群の構成
(ISO/TC261 Business Plan(Sep. 2022))



ISO/TC261国内審議委員会 が TRAFAM から JWES に移管されました！

ISO/TC261 について

AM（Additive Manufacturing(付加製造)に関する国際標準化は、2011年よりASTM InternationalとISO/TC261がパートナーシップ協定を締結し、国際標準規格制定を進めています。また、2013年からISO/TC261と ASTMとの合同国際会議が開催され、日本も参加しています。日本では、TRAFAMがISO/TC261国内審議委員会を設けて国際標準化活動を行ってきました。

TRAFAM での活動実績

- 2014年4月～2025年3月国内審議委員会を運営。 海外からの規格提案に対し、日本への影響を考慮した規格修正、意見表明を実施。
- 鋳造用AM砂型試験方法の規格提案を行い、発行も近い。
- 用語に関してJIS B 9441：2020 を作成、発行。
- 金属だけでなく、樹脂、セラミックス材料や建設用AMの規格化にも対応。

JWES における国内審議委員会（AM規格専門委員会）について

委員会では、国際会議対応、その情報展開と共に新規規格提案の検討、海外からの規格案への対応（意見集約）を行ない、反対や修正コメントを提出しています。
また本委員会は、JIS原案作成委員会も兼ねています。

AM規格専門委員会（ISO/TC261国内審議委員会）の構成メンバー

東京大学/大阪大学/東北大学/金沢大学/近畿大学/早稲田大学/産業技術総合研究所/北海道立総合研究機構/大阪産業技術研究所/兵庫県立工業技術センター/日本鋳造協会/日本鋳造工学会/日本ファインセラミックスセンター/三菱重工業/IHI/川崎重工業/東芝エネルギーシステムズ/日本電子/山陽特殊製鋼/福田金属箔粉工業/東洋アルミニウム/金属技研/日本積層造形/リコー/松浦機械製作所/ニデックマシンツール/ティーケーエンジニアリング/Polyuse/経済産業省製造産業局素形材産業室/経済産業省イノベーション/環境局国際標準課（JISC）

AM規格専門委員会へ参加しませんか？

委員会参加のメリット

参加することでISO/TC261へ登録し、AMに関する最新の国際標準化の状況を知ることができます。また国際標準化活動に参加し、国際標準規格の作成ができます。

委員会参加の条件

協会（年会費302,500円＋入会金5,500円）へ入会し、年会費137,500円が必要。
（全て消費税含）

連絡先 日本溶接協会
業務部 03-5823-6324
担当（西田） motonori_nishida@jwes.or.jp